



## Release Notes—AJA Mac Plug-Ins for Adobe Version 6.0

このソフトウェアリリースにはMac ProワークステーションのMac OS X上で動作するAdobeビデオアプリケーション用のプラグインソフトが含まれています。

### システム要件

- ・ 2GB以上のメモリを搭載したMac Pro
- ・ Mac OS 10.5.4 (Leopard)
- ・ AJA KONA LSe/LS、KONA LHe/LH、KONA3/3X
- ・ AJA KONA ドライバー6.0（別途インストールが必要です）

### 機能紹介

本バージョンには、Adobe Premiere Pro、After EffectsおよびPhotoshop用のプラグインが含まれています。このリリースは最初のリリースですが、KONAドライバのバージョンナンバーと揃えるために6.0というバージョンが与えられました。

AJA Mac Plug-Ins for Adobeは、Adobe製品を使用しているユーザに、業界最高のKONAハードウェアによって他に類を見ない性能を提供します

- ・ Adobe Premiere Pro CS3およびAfter Effects、PhotoshopのQuickTime、DPX、CIN、TIFF、TGAファイルへのネイティブ対応
- ・ Premiere Pro CS3での10bit RGBリアルタイム編集
- ・ 対応したAdobe CS3アプリケーションでのユニークでパワフルなアプリケーションインターフェイスの提供
- ・ すべてのKONAユーザに無償提供

詳細な機能説明と操作方法に関しては、付属のPDFマニュアル（英語）をご覧ください。

### 既知の問題と制限事項

- ・ 日本語環境で使用する場合、Premiere ProおよびPhotoshopプラグインのインストールが正しく行われません。手動で正しい位置にファイルを移動する必要があります。詳細は[aja-jp.com](http://aja-jp.com)のテクニカルインフォメーションを参照してください。

- ・ AJA Mac Plug-Ins for Adobeの設定はKONAコントロールパネルを使用しません。それぞれのアプリケーションに提供されるプラグインのインターフェイスから、アプリケーションごとに設定を行う必要があります。設定に関する説明はPDFマニュアル（英語）をお読みください。
- ・ このリリースに含まれているDVCPRO HDライブラリは、完全なQuickTime用DVCPRO HDコーデックとして動作するわけではありません。AJAプラグインが正式にサポートしていないアプリケーション上でDVCPRO HDのQuickTimeファイルを再生するには、Final Cut Proに含まれているようなサードパーティ製のDVCPRO HDコーデックが必要です。
- ・ 720p50または720p60のフッターをIN点とOut点を指定してキャプチャした場合、1フレームのずれが発生する可能性があります。
- ・ Adobe Premiere Proの使用中に再生を停止した場合、CTIは1～2フレーム前にずれる場合があります。
- ・ Adobe Premiere ProからQuicktimeファイルをエクスポートする場合、AJAのFile Exporterを利用しなければなりません。AJAの製品とPremiere Proで提供されるQuicktime File Exporterを利用することは、Premiere Proがクラッシュする原因となる可能性があります。
- ・ AJAデバイスコントロールダイアログは、Premiere Proのキャプチャウインドウを閉じる前に閉じる必要があります。先にキャプチャウインドウを閉じた場合、Premiere Proがクラッシュします。
- ・ 今すぐキャプチャ時には、RS-422経由でタイムコードの記録ができません。タイムコードが必要な場合にはRP-188エンベデッドタイムコードを使用して下さい。
- ・ 一部のSony製VTRをジョグ機能でリモートコントロールする場合、正しく動作されない場合があります。
- ・ Premiere Proのキャプチャ設定はキャプチャウインドウを開いてからでないと変更できません。バッチキャプチャウインドウ（ショートカットキー：F6）や、プロジェクト設定メニューからキャプチャ設定変更は反映されません。必ずキャプチャウインドウ（ショートカットキー：F5）からの設定を使用して下さい。
- ・ AJA Real-Time croppingエフェクトは、Bottom to Top（B to T）仕様の静止画連番ファイルには対応しません。使用した場合は、レンダリングが必要になります。
- ・ Premiere Pro の設定のうち、「render RT files of different resolutions」のチェック/アンチェックの切替えは、すぐには効果が反映されません。一旦プロジェクトを保存し、再起動を行う必要があります。
- ・ Variable Frame Rates（VFR）のプルダウン追加は、タイムコードによって最適化されません。
- ・ 今すぐキャプチャ及びビデオにプリント時に、プルダウンフレームレートは動作しますが、インサートエディット及び、In/Outキャプチャ、バッチキャプチャでは動作しません。